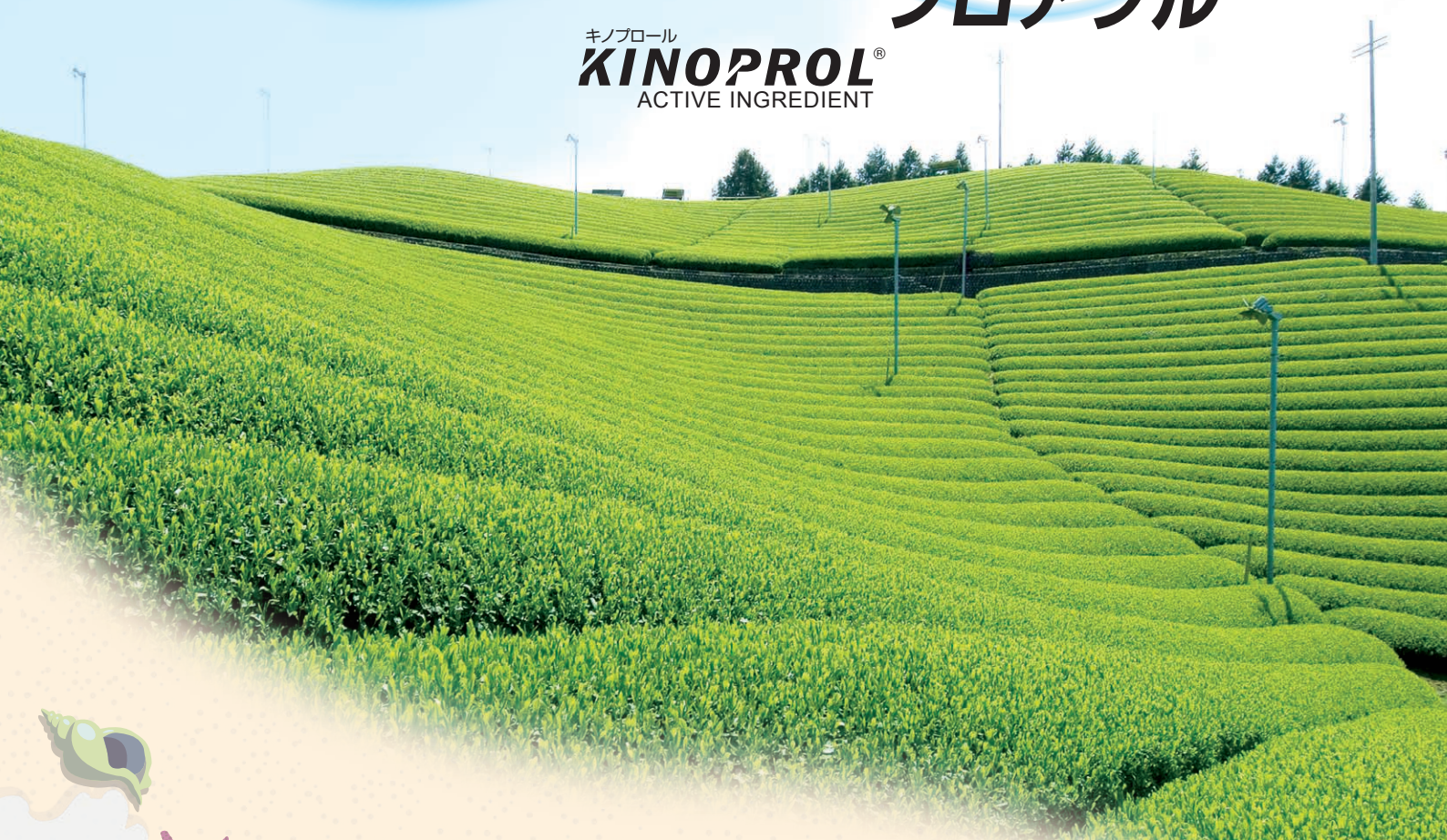


殺菌剤

# ミギワ<sup>®</sup>20

フロアブル

キノプロール  
**KINOPROL<sup>®</sup>**  
ACTIVE INGREDIENT



ミギワ  
炭疽病を水際で  
ブロック!



®は日本曹達(株)の登録商標です。

自然に学び自然を守る



## 特長

新規作用機構  
(殺菌剤分類52、DHODH阻害)  
で既存剤の耐性菌にも有効です。

広い殺菌スペクトラムを有し、  
茶では炭疽病に高い効果を  
示します。

予防効果主体の殺菌剤です。  
浸透移行性も示します。

### キノプロール KINOPROL<sup>®</sup> の作用点

KINOPROL<sup>®</sup>はRNAを構成するピリミジン塩基のde novo 生合成系のうち、ジヒドロオロト酸をオロト酸に変換するジヒドロオロト酸デヒドロゲナーゼ(DHODH)を阻害すると推測しています。

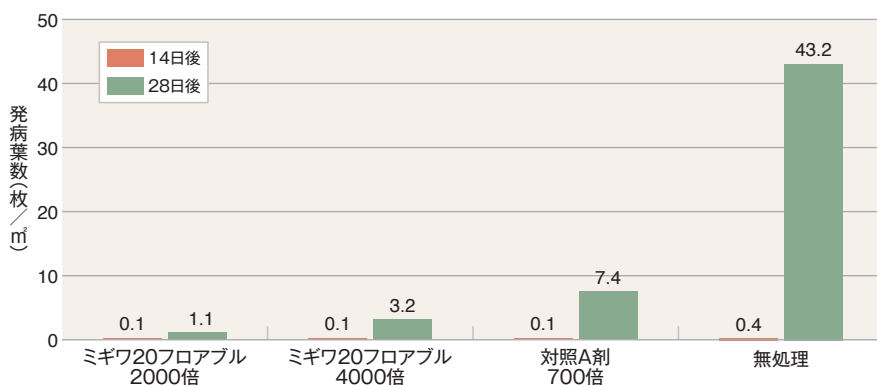
DHODHを阻害された植物病原菌は植物体への侵入と定着に支障をきたし、一連の感染行動が抑えられます。

## 適用病害の範囲及び使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イブフルフェノキンを 含む農薬の総使用回数
茶	炭疽病	2000~4000倍	200~400ℓ/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内

## 試験事例

### 炭疽病効果試験



2016年  
福岡県農林業総合試験場八女分場  
発生状況：少発生  
品種：おくみどり(25年生)  
規模：1区5.4㎡(3.0m×1.8m)  
3反復  
散布：6月7日(二番茶の0.5葉期)  
6月14日(1.5葉期)  
調査：6月28日、7月12日



## 上手な使い方

- 炭疽病菌の胞子は風雨で飛散し、新葉裏側の毛茸(もうじ、「うぶ毛」のこと)より感染します。
- およそ10時間以上の濡れ時間で感染するため、茶芽の開葉期に雨が多いと多発します。
- 炭疽病菌の潜伏期間は一般に2~3週間と長く、病斑を確認してからの防除は困難です。

**萌芽期~開葉期の予防防除がおすすめです!**  
(ローテーション散布を行ってください。)

## 使用上の注意事項(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階及び栽培形態に合わせて調整してください。
- 過度の連用をさげ、なるべく作用機構の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 蚕に対して影響を及ぼすので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 保管：直射日光をさげ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。

この資料は2023年11月現在の情報に基づいて作成しています。

